受入団体名：特定非営利活動法人 山科醍醐こどものひろば

プロジェクト/団体プログラム名：
子どもの貧困について効果的な情報発信を考える広報プロジェクト

募集人数

1～3名

＜活動期間：2025年10月1日～2025年11月1日　活動日数：3時間以上×5日＞

＜活動日or 活動パターン＞
☑週1日程度・定例、□月1～2回・不定期 □その他

＜活動の流れ＞

日時	活動内容
10/1（水）	ガイダンス、学び①（町歩き、活動見学）
10/6（月）	学び②（活動参加）、検討（発信内容を考える）
10/20（月）	学び③（活動参加）、発信①、検討（発信内容を考える）
10/27（月）	学び④（活動参加）、発信②、検討（発信内容を考える）
11/1（土）	発信③、振り返り

＜主な活動場所＞
山科区、醍醐地域
（最寄駅・バス停など：地下鉄東野、醍醐、石田　）

＜キャンパスからの交通手段＞
バス、JR、地下鉄

＜活動に必要な費用＞
活動場所までの交通費

＜参加の姿勢＞
積極的な参加姿勢

＜コミュニケーションの手段＞
☑電子メール
□LINE　　☑電話
□その他（　　）

＜活動のテーマと主な内容＞

困難を抱える子どもたちのために社会にできることを発信する

困りごと（特に経済的困窮）を抱えている子どもに対して生活支援、学習支援、余暇支援を行っています。生活支援では、日常生活の延長線で、一緒に夕ご飯を食べたり、入浴、宿題などを行っています。学習支援では、学習進度に合わせての学びなおしから受験対策までを行っています。余暇支援では、長期休暇での思い出作りや不足している様々な体験、経験を行っています。経済的困窮を理由に、多くの子どもがあたりまえに行っていることがあたりまえではなく、あきらめなければいけない状況を少しでもなくし、あきらめずに安心してすごすことのできる日常を作っています。しかし、活動を実施することに手一杯で、活動内容に関する発信は後回しになることが多いです。そのため、広報プロジェクトとして、現場を体験いただき、子どもの状況を知って、社会にできることを考え、発信していきたいと考えています。

＜活動する現場で学生が求められる背景（理由）＞

現場の特徴、学生に求める活動時や授業終了時をお示しください

困難を抱える子どもたちに年齢の近い学生が、実際に子どもと関わることでみえる姿、感じることを同じ世代や社会にどう伝えることが効果的かを考えてほしいと思います。

＜学生が期待できる学び＞

～ができるようになる、といった表現でおまとめください。

子どもの取り巻く困難な環境を知ることができます。
自分たちの取り組んだ発信に対してのフィードバックが返ってくるので、広報の必要性等を学べます。

＜活動紹介＞

多様な世代が活躍する団体

子どもとすごすあたりまえの日常

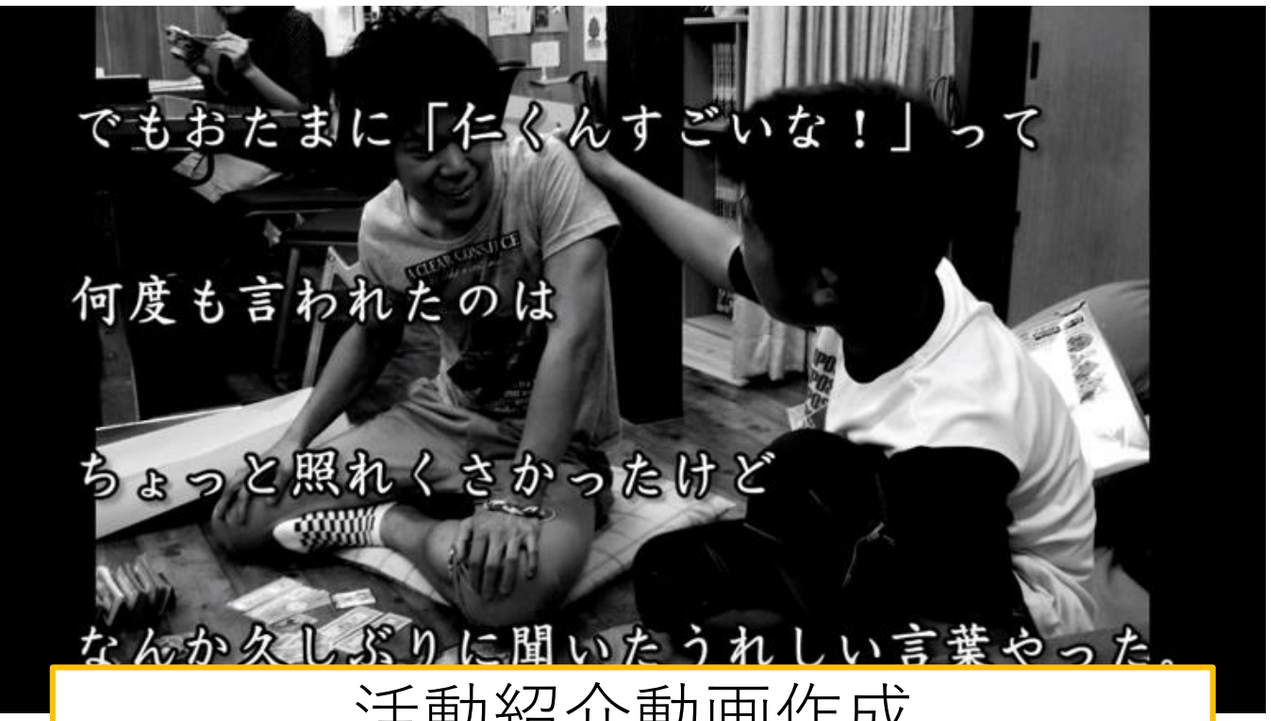
マンツーマンの学習支援

誕生日を祝ってもらう経験

＜活動紹介＞

Facebookでの発信

Instag r amでの発信



活動紹介動画作成

ボランティア募集動画作成